

## 題名：前のいいこと、今のいいこと

僕は、奈義の教育環境について考えてみました。

1つは、奈義小・奈義中すべて3クラスにすることを推めたいです。

なぜなら、今、30人以上のクラスでは、教室がとても狭いです。また授業に集中できてないことも多く、先生の声が届きにくいなどの現状があります。

職業についてインタビューをする冬休みの課題がありました。タイミングよく、父親の幼い頃からの友人が群馬県の小学校の先生をしていて、岡山県では聞けない貴重なお話を聞くことができました。その話の中には、群馬県太田市の小学校では、2クラスから3クラスにわけ、先生の目が届きやすい環境を作り、教育の質をあげる取り組みに成功しています。

近隣の市町村は、太田市をモデルにして3クラスにする、さらに1クラスの人数を20人程度に抑えることによって教育の質をあげています。

国が定めたルールに従わないで、奈義町独自のルールを創り、教育の質をあげておいくことが大切だと思います。

今、奈義町が行っているALTの先生方の取り組みは、父親の友人も大絶賛されていたので、これからも継続して行ってほしいです。

2つ目は、マラソン大会や持久走を復活させてほしいです。

なぜなら、短距離が得意な子もいれば、長距離が得意な子もいるから運動会だけでは子供達みんなの得意を発揮・発見することが難しいと思います。あと、競争心をお互い高め合っていくことが社会にでる前の準備として必要です。中学校の部活動がいずれ縮小・地域移行される可能性があるので、僕たちの体力づくりも兼ねて実施してほしいです。